

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

CONTENTS

ページ 項目

報告 <Report>

- 2 2019年度 第3回理事会議事録
- 9 HIV検査普及キャンペーン in 広島報告
- 10 地域ニューリーダー育成研修会に参加して

案内 <Information>

- 12 第37回 広島県医学検査学会 ~第4報~
- 13 令和元年度 初級・職能開発講習会のご案内
- 14 第21回 東部地区学会(ご案内) ~第2報~



HIV検査普及キャンペーン in 広島

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

広島県での受講は、定員に達しました！！

11月9日(土) 全国「検査と健康展」開催

日時：令和元年11月9日(土) 11:00~16:00

場所：廿日市市民ホール(ゆめタウン廿日市内)

ご家族・お友達を誘って「検査と健康展」に行こう！！

広報部連絡・専用E-Mail <koho@hiroringi.or.jp>速報原稿の送付、広報部へのご意見等
をお願いします。モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切りは11月15日です)



2019年度 第3回理事会議事録

日時 2019年10月10日(木) 18:30~20:00

場所 一般社団法人 広島県臨床検査技師会 事務所

出席者 森田会長 飯伏副会長 米田副会長 三舛副会長 坂田事務局長 檜山事務局次長 尾田部長 浅野部長 中島部長 有谿部長 難波部長 栗村理事 吉井理事 桑原理事 小松(忠)理事 小松(浩)理事 柴田理事 中宮理事 藤井理事 細谷理事 桑田理事 水野監事 榎本監事

欠席者 大塚理事 箕岡理事

書記 中宮

議 事

〈 報告事項 〉

【 森田会長 】

●10月2日 広臨技顧問の中本隆志県議会議員が広島県議会議長に就任され、就任祝賀会に水野監事と共に出席しました。

●10月12日 リーガロイヤルホテルで開催される岸田先生の経政報告会に出席予定。

●10月27日 自由民主党の広島政経文化懇談会が開催されますが、慣例として広臨技顧問の先生主催の会には出席していたが、これは自民党の主催なので出席をお断りします。

●「献血の血液等の研究への使用に関する指針に基づく公募」について
これは献血の血液を使って研究などをするときには応募してくださいというものです。

●12月19日 令和元年広島県のエイズ対策推進会議に出席予定。

●「都道府県技師会入会に係る調査」について

県会員になるのに正会員の住所等の条件がありますか？とうことですが、広島県としては「入会者の所在地または勤務地の所在は制限していない」と答えています。また、「正会員は日臨技会員であるか？」の質問については、「広島県会員は日臨技会員であること」と答えています。また日臨技会員は地臨技(広臨技)会員であることを条件にする運用については12月1日開始予定と回答しています。

(質疑: 水野監事)

以前、規程にはないが「勤務地が広島県にある会員が広臨技会員になれる」という扱いに統一したように思いますが、、

(回答: 森田会長)

規程に明記されて無く、また県境では勤務地が県外ということもある現状ではこのように回答するしかないとの判断です。

●「検体採取に係る厚生労働省指定講習会の促進」について

広島県の臨床検査技師有資格者1855名の内、講習修了者は1454名(修了率: 78.4%)

残り401名の方が未受講です。広島県では12月7、8日の講習会が最後となりますが、すでに定員に達しているため、今後は他県での受講となります。

●1月18日 県民フォーラム(医師会主催)が開催されます。テーマはACP(人生設計)で広臨技としても学術部を中心としてブースを設ける予定です。

【坂田事務局長】

●11月15日をもって事務員の細川さんが退職されることが決定しました。新しい事務員は高橋加代子さんで9月より勤務されています。9月中に引継ぎを行い、現在は高橋さんがメインで業務しています。細川さんは現在有給休暇取得中で週に1、2度勤務されています。細川さんに連絡を取りたい場合は、電話、メール等高橋さん経由で可能です。

●事務所のコピー機が新しいものになりました。リース代は一定ですが保守料が使用枚数により変動しますので、ミスプリント等なるべく減らして頂くよう慎重な使用を心がけてください。

【 尾田学術部長 】

- 10月4日第2回学術部会を開催しました。三舛副会長に2時間程度新しいウェブサイトの使用方法を説明して頂きました。
- 来年の第37回広島県医学検査学会で症例を考えるとという形の演題を2題準備しています。次回の学術部門長会議でスライドのチェック等をする予定です。
- 学術誌の送付は12月初旬を目指していますが、現在初稿原稿があがって投稿者に最終チェックをお願いしている状況です。昨年同様の様式で、会員数2020部、90万円の見積もりを頂きましたが、今年はページ数が減りそうなので少し安価になると思われます。ページ数が確定した時点でもう一度見積もりを頂く予定です。

【 浅野経理部長 】

- 入金報告
 - ・日臨技より会員会費2名分14,000円の入金がありました。
生涯教育推進研修会助成金として
 - ・血液部門研修会対して50,000円
 - ・第2回臨床一般部門研修会対して48,000円
 - ・病理・細胞部門研修会「技」対して48,000円
- 中間期決算について
締め切りを10月25日（金）とさせて頂きました。ご協力よろしくお祈いします。

【 中島渉外法規部長 】

- 無料職業紹介事業について
6月～9月の件数は2件でした。（6月1件、7月1件）
- 「HIV検査普及キャンペーン2019 in 広島」について
10月14日に開催（12時～16時）されます。技師ボランティア12名、学生ボランティア14名で活動します。技師は臨時検査と採血を担当します。場所はアリスガーデン付近。エイズ予防キャンペーンを開催しているAAAという団体、広島FM、広島市、りょうちゃんずと一緒に活動し大規模なイベントになります。サンプラザ中野の特別ライブもあります。ボランティア活動は10時～17時。

【 難波組織調査部長 】

- 「広島県ニューリーダー育成研修会」について
来年1月26日（日）に広島赤十字・原爆病院で開催予定です。内容については現在企画中です。会議も予定しており、内容が決まり次第報告します。

【 有谿広報部長 】

- 9月30日に速報10月号をウェブサイトとメーリングリストでお知らせしました。
速報11月号は、10月14日に開催される「HIV検査普及キャンペーン2019 in 広島」の取材内容と県学会のプログラムを掲載予定です。締め切りは10月10日なっていますがまだ間に合うので何か記事がありましたら有谿までお送りください。
- 学術誌の広告募集は10月8日現在、7社18万円集まっています。締め切りは10月11日。

〈 地区報告 〉

【 広島地区：吉井 】

- 特になし

【 呉地区：柴田 】

- 事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/06/20	第3回呉地区 研修会	23名
2019/06/27	第1回呉地区 微生物研修会	12名
2019/07/06	第45回七夕学会	85名
2019/07/10	第2回呉地区 細胞診研修会	12名

2019/07/18	第2回呉地区 輸血談話会	18名
2019/08/23	第2回呉地区 血液研修会	22名
2019/09/11	第3回呉地区 細胞診研修会	13名
2019/09/26	第4回呉地区 研修会	16名

●活動報告

2019/6/20	第3回呉地区委員会（七夕学会の運営について、地区理事の施設持ち回り順番および今後の担当施設について、等）
2019/9/26	第4回呉地区委員会（七夕学会の反省について、親睦会について、地区委員の連絡方法について、等）

●事業計画

開催日	事業名
2019/10/17	第3回呉地区 輸血談話会
2019/10/17	第5回呉地区 研修会
2019/10/25	第2回呉地区 微生物研修会
2019/11/13	第4回呉地区 細胞診研修会
2019/11/14	第18回呉地区 生理検査研究会
2019/11/22	第3回呉地区 血液研修会
2020/01/23	第4回呉地区 輸血談話会
2020/01/24	呉地区新年会・意見交換会

【 東部地区：細谷 】

●事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/06/23	第1回東部地区輸血検査研修会	25名
2019/06/27	第1回生涯教育講座（東部地区）	114名
2019/07/14	東部地区新入会員オリエンテーション研修会	62名
2019/07/14	東部地区精度管理報告研修会	98名
2019/08/03	第1回東部地区生化学・免疫合同研修会	38名
2019/08/17	東部地区生理研修会	35名
2019/08/22	第1回東部地区一般検査研修会	24名
2019/08/23	東部地区レクリエーション	20名
2019/09/03	東部地区病理細胞診研修会	22名
2019/09/05	第2回東部地区臨床微生物部門研修会	18名
2019/09/26	第2回生涯教育講座（東部地区）	74名

●活動報告

2019/07/02	第3回東部地区役員会
2019/08/27	第4回東部地区役員会
2019/09/24	第5回東部地区役員会

●事業計画

開催予定日	事業名
2019/10/19	東部地区生理研修会
2019/11/10	第21回東部地区学会
2019/11/17	第26回福山医学祭
2019/11/28	第3回生涯教育講座（東部地区）
2019/12/07	東部地区 一般・血液部門合同研修会

【 東広島地区：小松(忠) 】

●事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/6/27	がん関連研修会（膵癌の診断と治療）	15名
2019/9/9	改めて学ぶ血糖測定器～SMBG と POCT～	24名

●活動報告

2019/9/2	東広島地区運営会議
----------	-----------

●事業計画

開催予定日	事業名
2019/10/11	甲状腺検査と疾患
2019/10/24	がん関連研修会（がんの免疫療法）
2019/11/3	東広島健康福祉まつり参加
2019/11/22	東広島地区意見交換会
2019/11/29	ALP、LDにおける IFCC 基準測定操作法への移行～市場状況と実態～

【 北部地区：箕岡 】

●事業報告 なし

●活動報告 なし

●事業計画

開催予定日	事業名
2019/10/19	第2回北部地区研修会
2019/12/7	第3回北部地区研修会
2019/12/7	北部地区意見交換会

〈 討議事項 〉

【 森田会長 】

●討議事項なし

【 坂田事務局長 】

●討議事項なし

【 尾田学術部長 】

●討議事項なし

【 浅野経理部長 】

●討議事項なし

【 中島渉外法規部長 】

●検査と健康展について

11月9日、廿日市市民ホールで開催します。内容は、血管年齢4台、肺年齢2台、骨年齢3台、糖尿病検査、貧血検査1台、認知症スクリーニング検査2台、キッズエコー1台、顕微鏡1セット、DVT 検診体験のエコー1台用意しています。検査医として広島大学の横崎典哉先生と信州大学の金井信一郎先生が来られます。

広報活動は、中国新聞情報誌（CUE）の11月1日のタウンニュース枠の欄に掲載され、10月31日と11月8日にFMチューピーラジオに出演予定です。また10月28日から11月9日の当日までFMチューピーのスポットCMが50本流れます。これらにかかる経費は10万円プラス消費税10%です。

ボランティアに現在30名の申し込みを頂いています。募集予定は50名なのでまだ足りていません。今日申し込み用紙を持ってきているのでご協力よろしくお願ひします。

ポスター、チラシは今日間に合わなかったので後日郵送します。施設内、検査室内の掲示をよろしく願います。

【 難波組織調査部長 】

- 討議事項なし

【 有谿広報部長 】

- 討議事項なし

【 広島地区：吉井 】

- 討議事項なし

【 呉地区：柴田 】

- 討議事項なし

【 東部地区：細谷 】

- 討議事項なし

【 北部地区：箕岡 】

- 討議事項なし

〈 その他 〉

【 三舛副会長 】

- 広臨技ウェブサイトについて（中間報告）

進捗状況についての中間報告です。一般公開する前に9月11日に役員の皆様にメーリングリスト（以後ML）で会員登録をお願いしましたが、これはウェブサイトの会員登録のみでメルマガジン（以後メルマガ）の登録はまだ完了していません。その後さまざまなテストを経て9月25日に始動し、一般会員に向けて広臨技MLコミュでウェブサイト登録とメルマガ登録の申し込みを開始しました。現在一般会員の入会が98名、その前の役員登録の51名を合わせ149名という状況です。ウェブサイト登録後のメルマガ登録は現在57名（呉7名、東部地区18名）です。現行の広臨技MLコミュの登録数は469名に比べるとまだまだ少ない状況です。10月10日に賛助会員のメルマガ登録（基本1名/1社だが追加登録は可能）は開始しています。賛助会員への伝達はこのメルマガを使ってください。広臨技メルマガ1号は10月10日配信の速報10月号の掲載のお知らせで、会員と賛助会員に配信しています。現行のMLは12月2日を以って完全に終了となります。役員はまだウェブサイト登録しか完了していないのでメルマガ登録はご自身で登録をお願いします。地区理事は権限（メルマガ配信、ウェブサイトのお知らせ、行事予定の入力、固定ページ（学会等のページ作成）を作る等）があります。使用方法是ウェブサイトのページ下の手引きの欄を参照して下さい。新しいML（旧hamt-officialに相当）のテストの為、緊急メールを配信しますので返信をお願いします。

（質疑：柴田理事）

- ・我々役員はウェブサイトの登録は完了していますが、会員情報の登録はしないといけませんが、その時パスワードは必要ですか？
- ・メルマガの登録は必要ですか？
- ・今まで使っていた地区（呉、東部）のMLは廃止となりますか？

（回答：三舛副会長）

- ・パスワードは必要です。登録時に自動返信でパスワードが送られているはずですが。
- ・メルマガの登録は必要です。
- ・地区のMLは廃止となります。地区のメルマガを現在作成しているので、そちらに登録するよう声掛けをお願いします。

（質疑：桑田理事）

東部地区メルマガが完成したら、再度登録が必要ですか？

（回答：三舛副会長）

広臨技のメルマガに登録した会員しか地区（呉、東部）のメルマガ登録出来ません。同時登録も出来ますので、広臨技メルマガ登録時に広臨技+地区（呉、東部）にチェックを入れると同時登録されます。

【 水野監事 】

- 賛助会員外の研修会の後援・後援依頼のないポスターの後援記載について

8月のてんかんの2部構成（第一三共主催の部、てんかんセンター主催の部）の研修会で、賛助会員でない第一三共では後援は承認できないにも関わらずポスターに技師会の後援の記載があった。何か抗議はされましたか？

【 回答：森田会長 】

てんかんセンターからは後援依頼があったが、第一三共からは無かった。てんかんセンターには連絡し、主催が別なので第一三共も講演依頼が必要とう話はしました。しかし既にポスターは出回っていたので回収は出来なかった。

●研修会参加費にかかる消費税について

経理に確認ですが、ほとんどの研修会は無料ですが、参加費を支払う研修会では研修の対価としての参加費を徴収していますが、その場合の消費税の取り扱いについてお聞きします。

【 回答：浅野経理部長 】

広臨技では今まで研修会参加費に対して消費税を徴収したことはありません。研修会参加費に対して消費税が発生するのか、また発生するのであればどこに納めるのか等、小早川先生に確認してみます。

→ 後日、小早川先生から回答がありました。下記に掲載します。

「課税事業者とは、前々事業年度（当年度から考えると、平成29年度）の課税売上が1,000万円以上の事業者が該当します。
 広臨技は、勿論、課税売上が1,000万円未満の免税事業者（消費税の申告義務のない者）に該当することになりますので、消費税については、
 仮に本来的には課税売上がとされる取引があったとしても、特別な処理（消費税の申告や消費税に係る事務処理等）は必要ありません。」

消費税がかかるかどうかは、「対価性」がある取引であるかどうかで判断する。

対価性があれば消費税がかかり、対価性がなければ消費税はかからない。

※対価性・・・「受領する金銭」と「役務の提供等」に対応関係があるかどうか。

対価性のない取引の例

*受け取った助成金、保険金、共済金・・・役務の提供に対する対価ではないため

*会員からの会費や入会金・・・法人の業務運営に必要なものであるため

（会費や入会金は、会員に対するサービスの対価とは考えない）

★研修会の参加費

研修会等の参加費は、講義や講演の役務提供の対価であると考えられる。よって、対価性があり、「研修会収益」及び「参加費収益」は消費税のかかる処理となる。

【 広島地区：吉井 】

●第37回広島県医学検査学会について

開催日時 令和2年2月15日～2月16日

開催場所 広島 YMCA 国際文化センター

〈 予算案 〉

収入の部

科目	金額	詳細
広臨技助成金	1,700,000	
医療機器展示料	50,000	5,000×10社
広告費	350,000	30,000×9社 20,000×4社
ランチョンセミナー	200,000	100,000×2社
懇親会費用	500,000	5,000×100名
合計	2,800,000	

支出の部

科目	金額	詳細
会場費	510,000	控室含む

設備費	300,000	プロジェクタ・スクリーン他
印刷費	600,000	抄録集 1,950 部
講演料	200,000	シンポジスト 4 名・ 市民公開講座講師 1 名 講師交通費含む
会議費	70,000	実行委員交通費含む
広報費	100,000	ポスター・チラシ代 他
運用諸費用	270,000	実務委員日当・弁当・交通費他
ランチョンセミナー	200,000	昼食弁当代 200 食分
予備費	50,000	
懇親会費用	500,000	
合計	2,800,000	

* 医療機器展示料

賛助会員による会場における医療機器展示代（パンフレット配置含む）
学会会場における幹旋、販売等はしない

* 広告費

賛助会員の学会抄録広告掲載料

* ランチョンセミナー

賛助会員の宣伝、学会のレベル向上を目的として、ランチョンセミナーを開催し、その費用として発表 2 社より昼食弁当代 200 食分（収入と支出の同額）を負担

【 飯伏副会長 】

ランチョンセミナーに関しては 200 食分としていますが、今回のウェブサイトが開通したら事前登録が可能です。大まかな人数把握が出来ればある程度無駄を省くことが出来ると思います。以上、予算案につきまして承認いただけますか？ → 承認

【 坂田事務局長 】

- 県学会の初日の 2 月 15 日は理事会を予定しています。宿泊希望を取りますので名簿に記入してください。

【 飯伏副会長 】

- 地区内で PC 等の移動は基本的に業者便を使わないようにしてください。地区内での運搬費用は地区の費用で賄ってください。広島地区ではヤマト運輸と法人契約して、経費は広臨技が支払うよう計画しているところです。何か困ったことがあれば相談してください。

【 中島渉外法規部長 】

- マスクを新たに 3,000 枚作りましたので公益活動等に活用してください。

【 森田会長 】

- 広島県臨床検査技師会 70 周年記念事業について
来年度、広島県臨床検査技師会が 70 周年を迎え、記念事業の開催を予定しています。常務理事会で提案しましたが、前回の 60 周年の時は 10 月頃の開催でしたが、経費・準備等を勘案し、時期をずらして県学会の初日に開催して 2 日目に通常の学会を行う計画です。もし決定となれば、県学会を 2 年続けて広島市で開催し、来年度開催予定の東部での県学会は再来年度に開催していただくこととなります。この件に関して何かご意見ありますか？ → 意見無し
記念式典・記念講演等について何かいいアイデアがあればまた教えてください。

【 米田副会長 】

- 自民党党员について
申込書の記入と申込金を徴収しますのでよろしくお願いします。

以上

HIV 検査普及キャンペーン in 広島 レポート

2019年10月14日（月・祝）に広島市中区のアリスガーデンにて「HIV 検査普及キャンペーン in 広島」が開催されました。本イベントは、音楽業界と連携をとり HIV や AIDS についての啓発活動を行う団体「AAA(act against aids)」が主催で企画されたものでした。共催団体として、広島県、広島市、特定非営利活動法人りょうちゃんずとともに、広臨技は HIV 検査の啓発活動や無料検査の面から参画しました。

当日は快晴。午前10時の時点で、既に半袖シャツで丁度良い程の天候に恵まれました。当会からは、山陽女子短期大学の学生を含め26名のボランティアが参加しました。

正午になると、アリスガーデン特設のステージで啓発イベントがスタートしました。MCは広島FMで活躍されている大窪シゲキさん。ゲストとして、サンブラザ中野くん、パッパラー河合さん、Mebiusさん、杏沙子さんといったアーティストの方々トークやライブで会場を盛り上げました。



（杏沙子さん「ファーストフライト」）

Mebiusさんのトークでは広島市中保健センターの岩橋慶美医師が HIV の感染経路や感染率についてや、HIV 感染を防ぐためには何に気をつけるべきなのか等についてお話されていました。それらの話の中で、「知るワクチン」というワードが幾度となく出てきました。HIV/AIDSのことを正しく知ること、それが予防策になるとのことです。

・ HIV は感染力が弱く、水中や空気中に生息することができず、日常生活においては性交渉でのみ



（左から、岩橋医師、Mebius のお二人、大窪シゲキさん）

感染が起こり得る（全感染例の約8割）。

- ・ 正しく避妊具を装着していれば感染のリスクは防ぐことができる。
 - ・ HIV に感染したとしても、早期に発見し治療することで、発症を抑えることも可能である。
 - ・ 治療に対する公的な補助も受けることができる。
- 上記のようなお話が、各アーティスト方のトークの中で挙げられました。HIV のことを知り、予防策を知っていれば、リスクを回避し感染防止に繋がります。これは我々医療従事者が日頃から行っている感染防止対策や医療安全対策と同じであると感じています。まず、何が危険かを知り、そして適切な対応を取ることが肝要であると再認識させられる機会でした。



ステージではイベントが進行していく中、啓発担当の広臨技スタッフはアリスガーデン周辺で HIV 検査啓発のパンフレットやコンドームが入った袋を配ったり、HIV 無料検査への案内等の活動をしました。中でも山陽女子短期大学の学生ボランティアの14名は、最高気温が30°に迫ろうかという暑さにもめ

げず、最後まで元気に啓発活動をやり遂げてもらいました。その成果もあってか、広島女性クリニック（ピンクリボン39ビル）で行われたHIV無料検査の受検者は3時間で74名を数えました。当日は梅毒検査も平行して行われたこともあり、採血・検査担当の広臨技スタッフにおいても目の回る忙しさだったと予想されます。（HIV陽性0名、梅毒陽性1名）

午後3時20分からのサンブラザ中野さんとパッパラー河合さんのライブではアリスガーデンは人で埋め尽くされ、盛況のうちにイベントは終了しました。



私自身もパンフレット等の配布活動にも参加させてもらいました。「HIVの…」と言った途端に「いや、私はいいよ」と言われる方も多くいらっしゃいました。もちろんHIVについてよく知り、しかるべき対策を取られている方もいると思います。それでも何人の方とお話させて頂いた中で、「知るワクチン」、まだまだ普及が足りないのでは、と感じるところもありました。

今後もこのような啓発活動に参加し、より多くの方にHIV/AIDSについて知って頂きたいと感じるところです。（広報部 粟村尚史）



（左からパッパラー河合さん、サンブラザ中野くん、大窪シゲキさん）

令和元年度 地域ニューリーダー育成研修会に参加して

令和元年10月18日から20日の3日間、地域ニューリーダー育成研修会に、広島県代表として参加させて頂きました。会場は静岡県熱海市、熱海駅からバスで急な山道を進み、近くにコンビニもなく、熱海から想像される温泉街のイメージからかけ離れた山頂の施設で開催されました。

初日は、研修会の目的と臨床検査技師の現状と医療情勢、日臨技が取り組んでいる課題について、宮島日臨技会長や担当理事の講義を受けました。広臨技の皆さんも、新規資格業務として検体採取の講習会の受講、病棟業務への参画、検査説明などの職

済生会呉病院
河野雄一

域拡大や、医療法が改正され、精度管理責任者として臨床検査技師の名称が法律に明記されたことで、施設内での標準作業書作成など対応されたと思います。これから、求められる臨床検査技師像として、これらの取り組みがなぜ必要なのか、今までよく理解できていないままだったことを痛感しました。

2日目は企業に在籍しコンサルティング業務の経験のある外部講師による、人材育成に活用するコーチングの手法や問いかけのスキルを学びました。リーダーに求められる仕事として、技師個人、技師

会、職場などに関わる多彩な課題や目標があります。

メンバーの動機付けを図りながら、組織間で協力し目標とされるゴールに向かっていく姿勢を学びました。また、施設内にとどまらず、社会的に臨床検査技師の必要性が理解されるために、検査を利用する顧客（患者、医療職種）のニーズに対して、従来の正確な検査結果に新たな情報を加えて、情報発信することにより「臨床検査技師の仕事の価値」を高めることができ、顧客（患者、医療職種）満足が得られ、臨床検査技師自身の満足度を向上させ、時代の変化に対応できる職場、技師会に発展させることが、持続可能な成長につながっていきます。今回学んだ内容を発信することで、臨床検査技師の組織強化につなげていければと考えています。

3日目は5.6人のグループ内で、2日目に履修した、対話する際のコーチング技法を用いて、「メン

バーを褒める」を実践しました。人から褒められることに抵抗を感じる人はいないのですが、日本人は褒め方が苦手かつ下手であり、日々の目の前の仕事に手一杯で、過大な数値目標、効率化を強要し相手（後輩、同僚）のモチベーションを下げがちです。実際に褒められ役、褒め役を体験することで、チームパワーを上げ、一人で仕事をするより、チームとして大きな目標を達成できることを学びました。

3日間の研修を通じて、各都道府県からの参加者と交流し、情報交換できたと思います。

この3日間の研修の内容は、本年度中に開催予定の第2回広島県ニューリーダー育成研修会で報告予定です。第1回は昨年開催しましたが、伝えたい内容が多岐にわたったため、時間調整がうまくできませんでした。今年度は、前回の反省を活かして内容を絞ってグループワークも取り入れて開催できるよう準備していますので、是非ご参加ください。

《令和元年度 地域ニューリーダー育成研修会 プログラム》

10月18日（金）

- 15：00～15：15 開会挨拶 オリエンテーション
- 15：15～15：45 講義1 本講習会の狙いと今後の展開
- 15：45～16：15 オフサイトミーティング
- 16：15～16：45 10年後日臨技のあるべき姿へ向けてのロードマップの再確認
- 17：00～18：00 講義2 日臨技の重点課題と方針
- 18：00～19：00 会長講話 原点回帰「日臨技を新生させ未来を拓く」
- 19：10～20：40 懇親会 記念撮影
- 20：40～ ナイトミーティング 宮島会長と臨床検査技師の将来を語り合い

10月19日（土）

- 8：30～10：50 チームメンバーの育成に活用するコーチング
- 11：00～12：00 リーダーシップ、仕事の「価値」、組織力 (1)
- 13：00～17：20 リーダーシップ、仕事の「価値」、組織力 (2)
- 17：30～18：00 本日の振り返り
- 18：30～19：30 夕食
- 20：00～21：30 平成30年の経験から何を学び、リーダーとして令和をどのように牽引しゆくか

10月20日（日）

- 8：30～9：30 ファシリテーションスキル
- 9：40～11：00 実践のためのアクションプラン
- 11：15～12：00 講義3 臨床検査を取りまく環境の変化
- 12：00～12：15 修了証書 閉会挨拶

第 37 回 広島県医学検査学会 (第 4 報)

【開催日】令和 2 年 2 月 15 日 (土) ~16 日 (日)

【場 所】広島 YMCA 国際文化センター
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11

6 行

タイトル
筆頭執筆者・連名執筆者・所属

一般演題の募集について

一般演題を募集します。

- 演題申し込み締め切り日：
令和元年 10 月 18 日 (金)
- 抄録原稿締め切り日：
令和元年 11 月 22 日 (金)

<申し込み先・原稿送付先・問い合わせ先>
県学会事務局宛 (担当: 栗村)
hamtcongress@hiroringi.or.jp

2 段組

抄録原稿依頼のお願い

1. 抄録作成内容

Microsoft Word 形式のファイルで作成してください。

- 紙サイズ A4 余白は上下 25mm 左右 20mm
- タイトルは MS 明朝 14 ポイント
- 施設、氏名、本文は MS 明朝 10.5 ポイント
- 1,800 字程度にまとめて下さい。

2. 原稿の送付方法

*①②いずれかを選んで下さい。

- ①抄録ファイルを電子メールで送付するとともに、印刷した抄録原稿を FAX する。
- ②印刷した抄録原稿 1 枚と原稿を保存した CD-R を送付する。(CD-R には、施設名とタイトルを明記してください。)

3. 抄録原稿送付先

県学会事務局宛

担当: 栗村尚史 県立広島病院

mail: hamtcongress@hiroringi.or.jp

FAX: 082-253-0659

〒734-8530

広島市南区宇品神田 1 丁目 5 番 5 4 号

県立広島病院 臨床研究検査科

栗村 尚史

【学会内容】

- メインテーマ
～新しい時代を迎えて～

第 1 日目 (令和 2 年 2 月 15 日)

- みんなで考える症例検討会 2 題
*クリッカーを使用した参加型の検討会
I 「おなかが痛い」
II 「足がしびれる」

第 2 日目 (令和 2 年 2 月 16 日)

- モーニングセミナー
アボットジャパン株式会社: 「演題未定」
- ランチョンセミナー
*事前申込み制
I ベックマン・コールター株式会社 「演題未定」
II キヤノンメディカルシステムズ株式会社
「演題未定」
- 市民公開講座
がんの本質に迫る
「がんゲノム医療」の現状と課題
広島大学病院 檜井 孝夫先生
- 一般演題
午前・午後の 2 部構成

令和元年度 「初級・職能開発講習会」のご案内

職能団体としての組織強化を図る事を目的に、卒後4～7年の臨床検査技師を対象に、早い段階から臨床検査の将来や医療を取り巻く環境の変化等を的確に把握し、時代を先取りできる医療人、職能人としてのスキルアップを図るため下記のとおり研修会を開催します。

- ◆ 対象者には案内を発送していますのでご確認ください。
- ◆ 関係施設の管理者および施設連絡責任者の皆様には、できる限り多くの参加がありますようご配慮の程、宜しく願い申し上げます。

記

開催日時 令和元年11月24日(日) 10:00(受付開始9:30)～16:00

場 所 広島赤十字・原爆病院 9階会議室

内 容 9:30 受付開始

10:00 日臨技 会長講話「医療情勢と今後の方向性について」(ビデオ上映)

日本臨床衛生検査技師会 会長 宮島 喜文

11:00 基調講演「多様なニーズに対応する臨床検査技師のあり方」

広島県臨床検査技師会 会長 森田 益子

12:10 昼食

13:10 アイスブレイキング(グループに分かれてのゲーム)

13:25 グループワーク & グループ発表

15:30 e-ラーニングの説明

16:00 終了

参加費 1,000円(弁当代として)

生涯教育研修点数 基礎20点

申し込み先 県立広島病院 臨床研究検査科 難波 浄美

kensa01@hph.pref.hiroshima.jp

(必須: 会員番号・氏名・所属・経験年数)

申し込み期限 令和元年11月8日(金)

当日持参して頂くもの

1. 会費 1,000円
2. 会員証
3. 筆記用具

*昼食はお弁当を用意します。

第21回 東部地区学会（ご案内）～第2報～

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、第21回東部地区学会を下記の日程にて開催致します。

今回の東部地区学会は、一般演題6題と教育講演「地域に飛び出した臨床検査技師の取り組み」そして、特別講演「高齢者の生き方に医療者はどう答えるべきか」の構成で、懇親会を含め会員相互の親睦がはかれる一日となるよう企画しております。

日々ご多忙とは思いますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加頂きますようご案内申し上げます。

敬具

記

開催日：2019年11月10日（日） 13：30～17：35

受付：13：30～

学会：14：00～17：35

会場：三原国際ホテル 6階 「エターナリー」

三原市城町1丁目2-1 TEL (0848) 64-2111

懇親会：三原国際ホテル 6階 「アニバーサリー」 18：00～20：00

※ 懇親会参加費 会員：4,000円（懇親会のみ参加：5,000円）

【学会会場】



※なるべく公共機関を利用してお越し下さい。

第 21 回東部地区学会プログラム

受付開始 13:30～

一般演題 14:15～15:15

【生物化学分析部門】 座長：福山市民病院 平田 直也 技師
1. 『当院の NST の現状』

○JA 尾道総合病院 中野 寛子 技師

【臨床生理部門】 座長：JA 尾道総合病院 牧瀬 涼子 技師
2. 『当院における睡眠時無呼吸症候群 簡易検査の現状』

○日本鋼管福山病院 志田原 成海 技師

【輸血細胞治療部門】 座長：福山市民病院 小林 謙司 技師
3. 『ABO 血液型検査の判定を保留し、O 型赤血球製剤を使用した 2 症例』

○公立学校共済組合 中国中央病院 伊藤 野利子 技師

【臨床微生物部門】 座長：福山市民病院 能宗 千帆 技師
4. 『当院における *Helicobacter cinaedi* の検出事例』

○尾道市立市民病院 小林 さおり 技師

【病理細胞部門】 座長：福山市民病院 秀坂 恵 技師
5. 『当院気管支鏡における迅速細胞診 (ROSE) の試み』

○三原市医師会病院 森 智紀 技師

6. 『特殊な形態を示した大腸がんの一例』

○三原赤十字病院 金光 寛樹 技師

< 休憩 10 分 >

教育講演 15:25～16:25 司会：JA 尾道総合病院 細谷 勝己 技師

『地域に飛び出した臨床検査技師の取り組み』

○講師：広島県廿日市市地域支援員 黒木 真由 先生

< 休憩 10 分 >

特別講演 16:35～17:35 司会：三原赤十字病院 中宮 茂雄 技師

『高齢者の生き方に医療者はどう答えるべきか』

○講師：三原赤十字病院・呼吸器内科 有田 健一 先生

広島原爆療養ホーム 舟入むつみ園

下記の参加申込み用紙に施設名、お名前と該当欄に○印をご記入のうえ

11月6日（水）までにFAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

※ 参加人数把握のため、事前申し込みにご協力下さい。

（懇親会参加希望の方は、必ず事前申し込みして下さい。）

各施設で取りまとめて申し込み下さいますようお願い致します。

皆様お誘い合わせの上、多数ご参加頂きますようご案内申し上げます。

申し込み先：三原赤十字病院 中宮 茂雄 宛

FAX：0848-64-5880 E-mail：kensa@mihara.jrc.or.jp

★申し込み期限を延長しています！最終期限：11月6日（水）15：00

第21回 東部地区学会参加申し込み用紙

施設名： _____

お名前	学会参加	懇親会参加

※ 記入欄が足りない場合はコピーしてご使用下さい